

## 2018年度新規入職看護師の今年度最後の研修「看護の語り」から

2019年3月11日新卒1年目のまとめとなる振り返るナラティブ研修がありました。

今年度の新卒新人のレポートより一部ご紹介します。1年間の学びは、大変貴重なものになりました。

〈KAさん〉

ある緊張の強い利用者さんとの関わりから、たくさん見て、触って普段の状態を知っておくことが大切であり、重度な利用者にとっての体位が、安楽に過ごせる重要な要素であることを学んだ。

〈KOさん〉

臀部に皮膚トラブルがある利用者に対するケアの経験から、この1年日常生活援助をはじめ多岐にわたる看護技術を経験し学習したが、ただ実施するのではなく、利用者の個別性に応じた方法を根拠に基づいて実施することの大切さを学んだ。

〈Koさん〉

ある利用者の啼泣に対応する経験から、意識的に観察する重要性を学び、少しでも多くの利用者の思いをくみ取れるような看護師になりたい。

〈KAさん〉

意思がくみ取りにくい人工呼吸器を装着されている利用者が、本当に喜ばれるような感覚刺激を提供し、基本的欲求や承認欲求が満たされるような関わり方を探っていきたい。

〈TOさん〉

ある利用者の一見理解できない行動に意味があることに気づく。それは人との関わりを楽しむ行動の現れであり、そのことを大切に生かしながら楽しく安全に支援することの重要性を学んだ。

〈KOさん〉

対応に裏立ちを見せる利用者や筋緊張の強い利用者との関りから、日々苦勞をしつつも徐々に関係性ができつつある。日々のその経験から、少しでも利用者の想いに近づけるように気持ちやサインに気づき、身体・心を支えられるような看護師になりたい。

## 2019年度インターンシップを開始しました



2019年3月25日 県内の看護学校よりお二人見学体験をして頂きました。

短い時間でしたが、利用者さんに本を読んでくださったり、楽しく会話をされようとする姿は、とても将来が楽しみに思えた看護学生さんでした！！利用者さんも初々しい優しい学生さんの訪問にとても嬉しそうな表情で答えてくれていました。ありがとうございました！（^^）！